

■ 目標

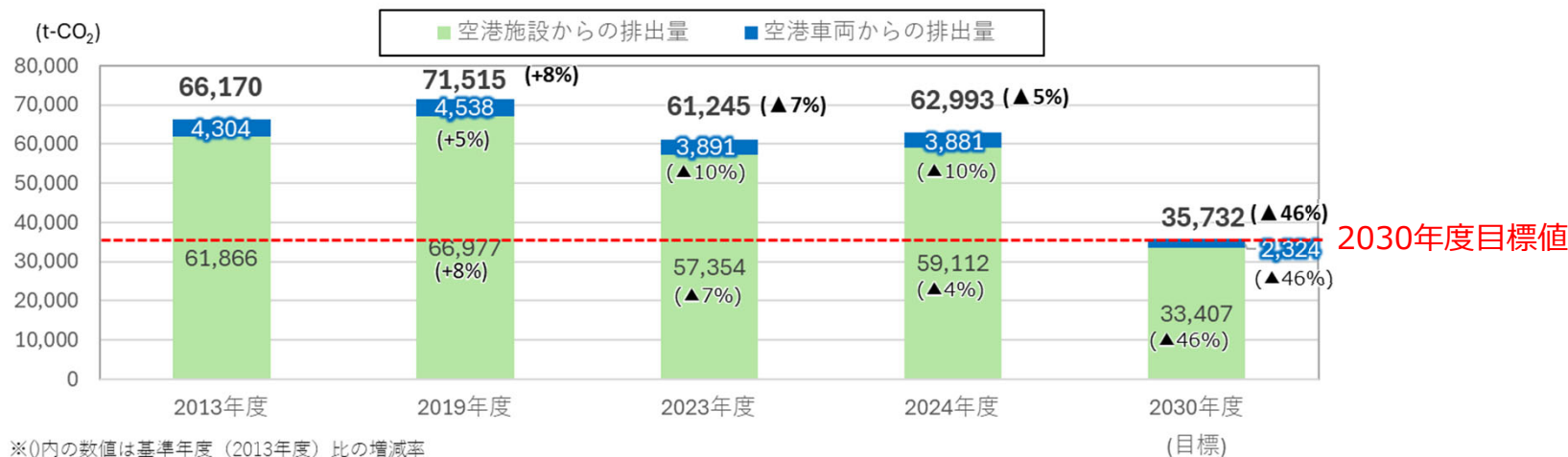
2030年度 CO₂排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

■ 取組状況

- **空港の施設**：航空灯火LED化により、CO₂排出量は推定38t-CO₂/年削減。(2013年度比0.1%相当)
施設照明LED化により、CO₂排出量は推定6t-CO₂/年削減。(2013年度比0.01%相当)
- **空港車両**：空港車両のBDF化により、CO₂排出量は推定51t-CO₂/年削減。(2013年度比0.1%相当)
空港車両のHV化により、CO₂排出量は推定1.9t-CO₂/年削減。(2013年度比0.03%相当)

区分	CO ₂ 排出量【t-CO ₂ /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	61,886	66,977	57,354	59,112	33,407
空港車両からの排出量	4,304	4,538	3,891	3,881	2,324
計	66,170	71,515	61,245	62,993	35,732



※新千歳空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告をもとに作成

■ CO₂排出量の増減理由

- 2024年度における空港の施設からのCO₂排出量が2019年度排出量と比べ少ないのは、航空灯火や施設照明のLED化等が進んだことや、旅客ターミナルビル等における暖房使用頻度も少なかったことが影響したと考えられる。
- 空港車両からのCO₂排出量は近年はわずかに減少傾向にある。除雪車両等の運用状況が影響したと考えられる。